

ひまわり



2015
JUL

もくじ

- 2 情勢 ～ 安永健太さん 裁判をとらして～
- 3 国会議員署名の報告とお礼
- 4 きょうさん 全国総会の報告
自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会一周年記念フォーラムのご案内
- 5 新コーナー「ちよつと聞いてよ！」第2回
ええもんみつけ！！
- 6・7 亀岡福祉会決算報告
- 9 ホームページリニューアルのお知らせ
第二かめおか作業所に新しい車がやってきました！・時・ご寄付

『スポーツレクリエーションフェスティバルに参加してきました！』

社会福祉法人 亀岡福祉会

法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蔭田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

URL <http://www.kamecomyu.net/>

後呂 絵美

EMI USHIRO

ディセンターばればれ
センター長

安永健太さん裁判をとおして

～「作業所の帰り道、警察官に取り押さえられ亡くなる…」
安永健太さん死亡事件裁判とは～

2007年9月25日、佐賀市で暮らしていた知的障害のある安永健太さん(当時25歳)は、作業所から自転車で自宅に帰る途中に、5人の警察官に取り押えられ、その直後に亡くなってしまいました。

刑事裁判では付審判請求の道が開かれたものの、警察側は無罪となり終了しました。また、2014年2月の民事訴訟の佐賀地方裁判所における第一審判決においても健太さんの死亡原因の真相は明らかにされませんでした。裁判において佐賀県警は、「停止命令に従わなかった」「精神錯乱者として保護した」と説明しただけで、警察官が馬乗りになり、うしろ手に手錠までかけ、全身に100カ所以上の傷を負った健太さんが「なぜ、亡くなったのか」について、まったく説明しませんでした。「健太は大きな声で呼び止められたら、固まってしまう」とお父さんは語られました。「真相を明らかにしたい、同じ事件を繰り返してはならない」との思いから、ご遺族は福岡高等裁判所に控訴し、現在第3回裁判まで行われています。

流れをかえた3万人の署名と
西日本新聞の「意見広告」

「なぜ健太さんは亡くならなければなかったのか」慎重な審理を求める要望書とともに、多くの賛同者が増え続けました。そして、九州でもっとも発行部数の多い西日本新聞に「意見広告」が掲載されました。多くの世論に後押しされた結果、福岡高裁は慎重な審理を選択し、去る4月20日第3回裁判では警察官の証人尋問が実現しました。証人尋問では、「警察官が知的障害に気づ

く場面はあったはず」、その上で事件の3年前に警察庁が作成した「障害のある方への接遇要領」による「適切な対応は可能だった」ことなどを念頭に、保護行為について妥当だったのか、所持品検査はできなかったのかなどについて尋問しました。証人警察官は「気がつかなかった」「余裕がなかった」「表情が見えなかった」と繰り返すばかりでした。

すべての人たちに
「障害への理解」を広げる

証人尋問の実現という大きな成果があった第3回裁判。しかし、「もし…」や「たら」はありませんが、「もし警察官が障害について少しでも理解があれば」「障害に配慮した声のかけかたをしてくれたら」「を考えずにはいられない」証人尋問の内容を知るにつれ、そんな思いがふくらみました。

私たちは、障害のある人たちが地域のなかで安心して、いきいきと働きくらすことを支援しています。地域でくらすとき、さまざまな人との関わりを避けて通ることはできません。この事件、裁判をとおして改めて「障害のある人たちを支援する」と言っている私たちの仕事の意味や役割は何なんだろう…?と問い返さなければなりません。「すべての人たちに障害への理解を広げる裁判」ということの意味を、まずは障害のある人たちに一番近くで関わる私たちが考え行動しなければ、この地域でも同じようなことが起こりえます。

日々、メンバーの仕事づくりや活動、イベントの企画などをとおして、さまざまな人

たちとの出会いがあります。その出会いのひとつひとつを大切に、障害のある人たちの姿をとおして伝えること、知ってもらいことから、ちがいを知り合い、認め合うことにつながっていきたいと思います。

障害者権利条約批准から1年が経過し、差別解消法の成立など、障害についての理解を広げるとりくみが国や自治体で進められようとしています。それだけに、とりわけ公的機関やその他全てのみなさんには、障害のある人たちのことはもちろん、地域にくらすすべての人の「命やくらしを守る」ことを、この事件を契機に一緒に考えていただきたいと思えます。それが健太さんの死を無駄にしない、起こってはならない事件を起こさないことにつながるのだと思えます。

「なぜ亡くならなければならなかったのか」「大丈夫か、と警察官が声をかけていれば健太はパニックにはならなかった」とお父さんは語られました。そして「同じ過ちを繰り返してはならない」と控訴を決心し、闘いを続けておられます。その思いに心を寄せ、この事件・裁判に関心を寄せることを続け、さまざまな立場の人にさまざまな方法で伝え続けていくことが、今もこれからも私たちにできる、しなければならぬことです。

紙面のスペース上、事件の詳細や裁判内容について十分にお伝えしきれないことがたくさんあります。ぜひ、裁判支援のホームページなどご覧いただき、知っていただきたいと思えます。

参考、引用資料

安永健太さん死亡事件裁判支援HP「知的障害のある安永健太さんの死亡事件を考える」
きょうされん コメント

みんなの"思い"届けてきました!

第38次国会請願署名にご協力いただきありがとうございました!

署名到達：11,911筆

募金到達：448,421円

昨年末からとりくんできました、きょうされん第38次国会請願署名・募金運動で皆様からご協力いただいた署名を持って5月28日(木)に国会請願行動を行いました。

当日は全国44都道府県から約400人のメンバー・家族・関係者が集まり、各地で集められた100万筆を超える署名を手に紹介議員になつていただくよう、そして障害者施策のさらなる充実に協力いただくよう、すべての国会議員控え室を訪ねて国会請願署名の採択へ熱く呼び掛けました。

亀岡からは亀岡福祉会の利用者1名、家族2名、また昨年からの亀岡署名推進委員会として一緒に署名活動にとりくんできた(株)たのしくはたらくの利用者1名、職員1名の計5名が京都代表として参加をいたしました。

京都からは12名の関係者で参加し、皆様にご協力いただいた、京都で集めた16万筆の願い(署名)を持って請願行動を行いました。参加した利用者は、一障

害があること、作業所に通っていることを偏見で見られることもあり、まだまだ差別される」と率直な思いをぶつけました。また「デイズニールランドに行きたい。でも一人では行けないし、ヘルパーさんとどこにでも行けるようにしてほしい」の利用者からの訴えに議員や秘書の方も耳を傾けてくれました。家族からは「親亡き後が心配。本人が自立した生活を地域で送れるようにしてほしい」と切実な願いを国会議員の方に熱くぶつけてきました。

今回の国会請願署名・募金運動のスローガンは「あたりまえにはたらく。えらべるくらしを。障害者権利条約を地域のすみずみに」でした。「障害のない人との平等」。『同年代の市民と同等の生活』を謳っている障害者権利条約を日本は批准しています。障害のある人の『あたりまえ』を実現するため今後も運動の力を信じて頑張っていきたいと思えます。署名、募金にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

亀岡福祉会メンバー

みんなの思いを届けられて良かった。自分の思いとして、まだまだ差別されることやもっと働く場が増えてほしいこと、作業所の職員の給料を上げてほしいことなど、国会議員の方にいっぱい思いをぶつけてきました。話をしっかり聞いてもらうこともできてとても良かったです。

参加者の声

亀岡福祉会保護者会 会長

このたびは、国会議員の方に私たちの声を聞いていただきました。利用者自身の声、支えて頂く施設、職員さんの声、そして私たち親の熱き思いである、親亡き後も本人が自立した生活が送れるように、より障害者自身に寄り添った支援法であり、安心して暮らせるような地域社会の実現をお願いしました。こういう機会は滅多にあるものではありません。署名活動や請願行動の大切さを切に感じました。



亀岡福祉会保護者会 副会長

真夏の様に暑かった5月28日、全国から集まった400人の関係者が地元選出の国会議員を訪問しました。京都のグループは2チームに分かれ、私たちのグループは穀田議員にお会いしグループホームや親の高齢化問題を話してきました。ひとり一人の声は小さくて弱けれど、大きくて熱い400人分のパワーで100万筆を超える署名を届けることができました。



5月27日 きょうされん全国総会!!

きょうされん第38回全国総会が
戸山サンライズ(東京都新宿区)
にて行われました。

当日は全国各地から代議員、オ
ブザーバーを含めた200名あま
りの代表が集いました。

戦後70年の今年、憲法の9条、
25条に引き付けながら、「障害者
と戦争」「障害者と平和」につい
て深めていく提起がされました。
『障害のある人の権利は、平和な
社会でしか守れない』思いを今一
度参加者で確かめました。

京都の代議員として代表参加し
たかめおか作業所利用者の高橋さ
んからは分散会での発言で、「昨
年から、みんなにアンケートをとつ
て、京都府知事にみんなの声を届
けている」「交流会では京都の仲
間もみんな盛り上がりました!」
と自身が部長を務める利用者部
会《はんなりドリーム》の活動を
報告しました。たくさんの人たち
の前で緊張しながらも堂々と報告
している姿はとてたくましく思
えました。

今総会の代議員参加者数は14
9名、内利用者代議員は36名とな
り、全大会、分散会を通して13
0本もの発言のなかでも利用者の
発言が目立ちました。それだけ、

障害のある人たちの参画の場が保
証されており、きょうされんが大
切にしている障害のある人を真ん
中に据えた議論が総会では活発に
行われました。全議案は賛成多数
にて採択されました。

まとめでは西村理事長より、きよ
うされんは言いたいことを言おう!
さらに幅広い人たちとつながるつ!
そして内部のつながりととりくみ
内容の質のアップをしよう!とこ
れからの活動を見据えて大切にし
ていきたい点が提起されました。

平和への願いを強め、障害のある
人たちが、障害のない人たちとも
わけへだてのない、あたりまえの
社会の実現に思いを一つにした総
会となりました。



自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会 一周年記念フォーラム

~地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かしていく~

日時 / 2015年7月26日(日)

会場 / 第三かめおか作業所

13:30~16:30(受付13:00~)

(亀岡市保津町上火無28-86)



第一部 基調講演

「モノづくりからコトおこしへ~地域の自立を目指して~」

講師: 景井 充さん (立命館大学産業社会学部 教授)

第二部 シンポジウム

「亀岡の未来をつなぐとは(仮称)」

進行: 高橋信二さん(京都府障害者作業所工賃向上モデル事業アドバイザー)

助言: 景井充さん(立命館大学産業社会学部 教授)

シンポジスト: それぞれの分野から(亀岡市内行政・商業・市民活動・福祉)

入場
無料

【お問合せ先】

自然豊かな亀岡の未来をつなぐ地域協議会

事務局: 〒621-0033 京都府亀岡市穂田野町佐伯大門30-1(かめおか作業所内)

TEL: 0771-24-2596 FAX: 0771-24-2597

新コーナー

第2回
塩内喜博さん
(第三かめおか作業所)



「ちょっと聞いてよ！」

このコーナーでは毎号1人の方にスポットを当て、その方の「ちょっと聞いてほしいこと」「これだけは言わせてほしい!」ことなどを紹介していききたいと思います。第2回は第三かめおか作業所で仕事をされている塩内喜博さんです。塩内さんは3年前にかめおか作業所から、第三かめおか作業所に異動し、今は内勤の和菓子グループで仕事をしておられます。今回は日々の仕事を通しての感想や、将来の目標について語っていただきました。

塩内さんは、毎日どのようなお仕事をされているのですか? 日々の仕事の様子なども聞かせてください。
塩内 第三かめおか作業所では、あられを焼いたり、できあがったお菓子を袋詰めしたり、毎日ほんまに忙しいわ。9時から5時まで走り回って仕事をしてるから、体力もついてきたで。
第三かめおか作業所で一番楽しい事はなんですか?
塩内 年に1回の旅行が一番楽しみや。第三かめおか作業所はメンバー全員で旅行に行くし、とつても賑やかやし。今年の旅行も今から楽しみやわ。
塩内さんの今の目標はなんですか?
塩内 今は職員の言うとおりに仕事をするけど、色々な仕事を覚えて、自分で段取りを考えながら仕事ができるようになりたい。そして仕事しながら考える力を付けて、いつか結婚して生活したい!
ひまわりを読んでくださっている方に「これだけは言いたい!」ということとはありますか?
塩内 僕が働いている和菓子グループでは、新しいお菓子「ポンチップス」ができたんや。サクサクしててほんまに美味しいし、もつとみんなに食べてもらって「おいしい!」って言って欲しい。そして「ぼくもお菓子をいっぱい作っていっぱい働きたいんや!」
「ポンチップス」は「ええもんみつけ」のコーナーで紹介されています。

カロリーも低くとってもヘルシー!

ポンチップス

(第三かめおか作業所)

ええもんみつけ!



四季工房・和菓子グループからようやく新製品「ポンチップス」が誕生しました。清水基金様からいただいた助成金を活用して、新しいポン菓子機を購入。同じ機械を使っていた滋賀県の作業所さんに色々教えていただき、試行錯誤を重ね、ようやく完成しました。メンバーや職員があれこれ考えて、名前は「ポンチップス」に決定。まずは「ごぼう」「たまねぎ」「えび」の3種類から販売開始です。ポンチップスは野菜を材料にしているため、カロリーも低くとってもヘルシー! 販売会では「素材の味がしておいしいね」と好評です。お子様からご年配の方までたべやすい「ポンチップス」。これからもたくさん美味しいお菓子を皆様にお届けできるよう、頑張っていきたいと思っております!

お問い合わせ

第三かめおか作業所(亀岡市保津町上火無28-86)
TEL: 0771-21-2275 FAX: 0771-22-7622

価格: 130円
内容量: 15g
賞味期限: 90日間

貸借対照表

平成27年3月31日現在

社会福祉法人 亀岡福祉会

資産の部			負債の部		
	科目	金額		科目	金額
流動資産			流動負債		
		272,150,085			51,622,362
	現金預金	171,834,500		短期運営資金借入金	0
	商品・製品	1,648,180		未払金	48,000,250
	原材料	858,066		預り金	750,256
	未収金	91,811,282		前受金	896,890
	貯蔵品	0		仮受金	4,167,163
	立替金	1,465,314		その他流動負債	0
	前払の金	1,712,833		固定負債	62,396,270
	短期買付金	0		設備資金借入金	20,000,000
	仮払金	3,181,871		長期運営資金借入金	0
		725,684,425		退職給与引当金	42,396,270
固定資産				負債の部合計	114,018,541
基本財産				純資産の部	
	建物	459,178,408		基本金	210,020,388
	土地	140,300,700		国庫補助金等特別積立金	348,447,759
	基本財産特定預金	1,000,000		その他の積立金	46,868,033
その他固定資産				人件費積立金	7,010,257
	建物	13,909,875		修繕費積立金	3,972,833
	構築物	988,812		利用者工賃積立金	1,583,330
	車輜運搬具	2,858,512		施設整備等積立金	28,459,358
	器具及び備品	6,040,102		設備等整備積立金	5,010,257
	機械及び装置	14,075,292		移行時特別積立金	0
	土地	0			
	建設仮勘定	0			
	ソフトウェア	1			
	権利	140,068		次期繰り越し活動収支差額	
	人件費特定預金	7,010,257		次期繰り越し活動収支差額	200,141,739
	修繕費特定預金	3,972,833			
	施設整備等特定預金	28,459,358			
	設備等整備特定預金	5,010,257			
	移行時特別積立金	0			
	退職共済預け金	27,482,943			
	保証逆差し入れ	48,000,000			
資産の部合計		997,814,510	負債、純資産の部合計		997,814,510

事業活動収支決算書

自平成26年1月1日

迄平成27年3月31日

社会福祉法人島岡福祉会

勘定科目		合計
就労支援事業活動の部	収入	就労支援事業収入 53,211,314
	支出	就労支援事業活動支出計 52,390,306
	就労支援事業活動収支差額 821,508	
福祉事業活動の部	収入	運営費収入 355,470,915
		利用料収入 23,226,426
		補助事業等収入 32,629,109
		寄附金収入 1,652,546
		雑収入 7,079,987
		借入金元金償還補助金収入 2,956,977
		国庫補助金等特別積立金取崩額 14,876,187
	福祉事業活動(小計1) 447,892,147	
	支出	人件費支出 327,164,714
		事務費支出 31,739,218
		事業費支出 47,924,987
賃借償却費 22,287,601		
引当金繰入 3,474,190		
福祉事業活動(小計2) 432,590,710		
福祉事業活動収支差額 1-2 15,301,437		
事業活動外収支の部	収入	事業活動外収入計 21,300,607
	支出	事業活動外支出計 21,556,289
	事業活動外収支差額 -255,682	
経常収支差額 15,867,263		
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入他 10,372,850
		施設整備等寄付金収入 0
		国庫補助金等特別積立金取崩額他 0
	支出	国庫補助金等特別積立金積立額他 11,872,855
特別収支差額 -1,500,005		
当期活動収支差額 14,367,258		
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額 256,015,822	
	当期末繰越活動収支差額 270,383,080	
	その他の積立金取崩額 0	
	その他の積立金積立額 941,341	
	次期繰越活動収支差額 269,441,739	

お知らせ

ホームページをリニューアルしました!

URL <http://www.kamecomyu.net>
これまでと同じです。



亀岡福祉会

検索

7月1日より亀岡福祉会のホームページがリニューアルされました!各事業所のページでは、作業所で働くみんなの様子をお届けしてまいります。自主製品ページも定番商品はもちろん新商品の情報もお届けできるようにしていきたいと思えます。地域づくりのページでは、賛助会や国会請願署名、ハートフェスタやゴスペルコンサートといったイベントの情報を随時更新してまいります!

是非一度、新しくなった亀岡福祉会のホームページをご覧になってみてください!

第二かめおか作業所に新しい車がやってきました!



このたび京都市在住の長曾毅次(ちょうそ よしつぐ)様から車両をご寄付いただきました。利用者の送迎等に活用しております。本当にありがとうございました。

時

働くと言えばお金を稼ぐ事と答えるメンパーは多く、「もつとたくさんお給料が欲しい」と願っている。その願いに応えられるよう「仕事」を確保し働くエネルギーになっているのはそれだけだろうか。

作業所は集団生活の場である。人が集まると良くも悪くもいろんな事がおきる。

人から見た自分を感じた時に受ける刺激や、仕事ぶりや生活面を評価される事など、集団の中で自分を確認する機会が得られ、他者の中で自分のイメージが生まれてくる。上手く行けば自分に自信が持て、悪くするとその逆もある。

少しずつみんなに認められながら仕事をするといいことは、「工賃向上」のように目に見えて分かりやすいものではないが、集団によって育まれる仕事から得られる、生きていく上で大切な事のようには思える。

障害の重い人も、作業所に通い続ける中で成長は、ゆっくりでも確実にあると思う。その成長を見つめ続けていきたい。

(Y)

ご寄付 5月/6月

5/20 時岡 健一様 花苗

5/28 NPO法人 青空ふれあい農園様
電子レンジ、作業台等

5/29 小島 様 生地 他

ご寄付ありがとうございました。

きょうされんにあなたの力を ~ 賛助会員募集 ~

きょうされんの活動は、全国約31,000人の賛助会員に支えられています。障害のある人が安心して働き、暮らしている地域社会を築いていくには、地域の中に理解してくれる人を広げていくことが大切です。そのためにも賛助会員は、私たちにとって大切な存在です。また賛助会費は、独自の資金で活動しているきょうされんを支える重要な役割を担っています。ぜひとも賛助会員になっていただき、私たちを応援してくださいませよう、心からお願い申し上げます。

個人1口:3,000円 団体1口:6,000

お問い合わせ先
社会福祉法人亀岡福祉会 第二かめおか作業所(担当: 橋原)
TEL: 0771-26-5434